

# 第1回北斗の音楽セミナー開催

国内のクラシック音楽界の第一線で活躍中のプロ奏者5名が、かなで〜に講師として集結し、子どもたちへ吹奏楽指導を行います。当日は、講師陣によるミニコンサートや上磯中学校吹奏楽部をモデルバンドにした合奏指導、ウエルカムコンサートなどすべてのレッスンとコンサートを聴講できる充実した2日間です。

■「音楽のまち・ほくと」を体感しにぜひお越しください(レッスンの聴講やコンサートの観賞は事前申し込み不要です)。

●開催日/6月18日(土)・6月19日(日)

●会場/総合文化センター(かなで〜)

●日程/

・6月18日(土)  
午前10時~午後4時 全レッスン完全公開  
午後4時30分~午後5時30分  
上磯中学校吹奏楽部公開合奏指導  
午後5時30分~午後6時  
上磯中学校吹奏楽部ウエルカムコンサート

・6月19日(日)  
午前10時~午後2時30分  
全レッスン完全公開

午後3時~午後3時30分 講師コンサート  
午後3時30分~午後4時30分 成果発表会

●聴講費用/1,000円(2日間入退場自由)  
※事前申込不要。当日会場にて受け付けます。

## 講師陣

トランペット 梶本 浩規(東京藝術大学音楽学部教授)  
クラリネット 近藤 薫(シエナウインドオーケストラ)  
トロンボーン 越智 大輔(群馬交響楽団)  
ホルン 大野 雄太(東京交響楽団)  
フルート 丸太 悠太(東京佼成ウインドオーケストラ)



Tp 梶本 浩規



Cl 近藤 薫



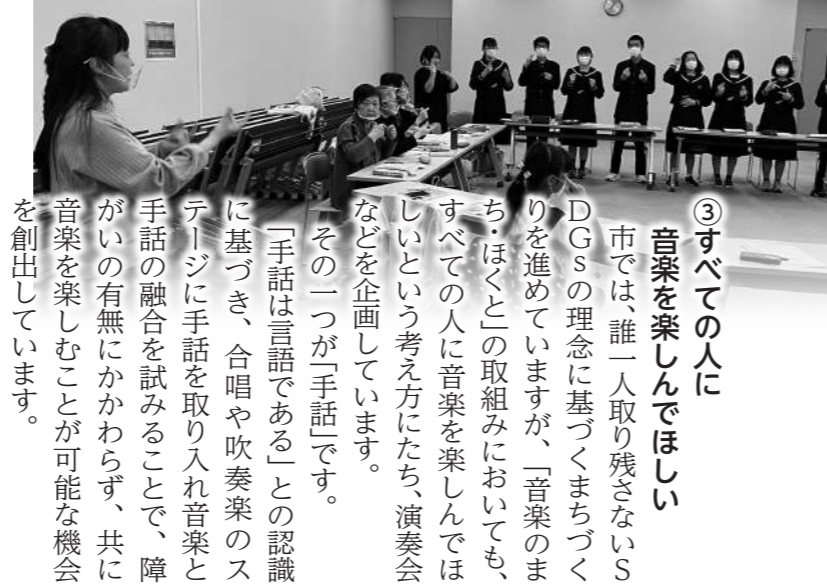
Tb 越智 大輔



Hr 大野 雄太



Fl 丸太 悠太



③すべての人に音楽を楽しんでほしい  
市では、誰一人取り残さないSDGsの理念に基づき、まちづくりを進めています。「音楽のまち・ほくと」の取組みにおいても、すべての人に音楽を楽しんでほしいという考え方にたち、演奏会などを企画しています。  
「その一つが「手話」です。」  
「手話は言語である」との認識に基づき、合唱や吹奏楽のステージに手話を取り入れ音楽と手話の融合を試みることで、障がいのある無にかかわらず、共に音楽を楽しむことが可能な機会を創出しています。



# 音楽のまち・ほくと

小学生から中学校、そして一般まで多くの人が音楽に親しみ、市内各地のイベントでは、生の音楽に触れることができます。それが「音楽のまち・ほくと」です。

## 「音楽のまち・ほくと」取組みの背景

ここ北斗市では、童謡「赤とんぼ」が作詞されたことや、市内小中学校の吹奏楽部や合唱部の各種大会での活躍のほか、北斗市音楽祭をはじめ年間を通して、さまざまな演奏会が開催されるなど、音楽が広く親しまれています。その環境をいかし、さらなる音楽活動の活性化を図ることで、市民の心の豊かさを育みながら、市民生活の満足度向上を目指し「音楽のまち・ほくと」を掲げた取組みを進めています。こうした取組みを北斗市の魅力として、全国に情報発信するシテイプロモーションを展開します。

## 「音楽のまち・ほくと」基本的な方針

①持続可能な音楽活動の推進  
コンサートや音楽イベントの開催など市民が気軽に音楽に親しむことができる機会を提供します。

## 「音楽のまち・ほくと」オリジナル「赤とんぼ」

北斗市ゆかりの童謡「赤とんぼ」を吹奏楽用にアレンジした北斗市オリジナル曲ができました。  
作曲・アレンジを担当したのは、東京オリンピックピック2020で閉会式の音楽編曲を担当した郷間幹男さんで、今回、北斗市のために制作していただきました。

6月18日の第1回北斗音楽セミナーで行われるウエルカムコンサートで、上磯中学校吹奏楽部の演奏によりお披露目します。

## 「音楽のまち・ほくと」3つのポイント

①名曲「赤とんぼ」の発祥地  
夕焼けの情景が目に浮かぶ、赤とんぼの曲を皆さんはお聴きになったことがありますか?  
「赤とんぼ」は、詩人・三木露風が、当別のトラピスト修道院で講師を務めていた頃、赤とんぼが乱舞する風景に子ども頃の郷愁を重ね合わせて作詩しました。  
②吹奏楽の盛んなまち  
北斗市は、小中学校の吹奏楽部を中心に音楽活動が活発です。上磯中学校をはじめ、大野・浜分各中学校、上磯・久根別・浜分・谷川各小学校の吹奏

## ②音楽を通じた交流の促進

市内外の音楽団体間の交流を促し、多様な音楽活動の活性化を図ります。  
③将来に向けた体制づくり  
市内の音楽団体や音楽家の把握に努めるほか、指導者の確保・育成に努めます。



<作編曲家 郷間 幹男さん>

## 「音楽のまち・ほくと」生の音楽を提供します

「音楽のまち・ほくと」を市民の皆さんに実感していただくために、今後、さまざまなイベントで生の音楽に触れられる機会を企画していきます。

## ★企画案

「ほつくるエキナカコンサート」  
「ほくとマチナカコンサート」  
「マタニティー&ファミリーコンサート」など  
この他にも図書館のイベントや観光施設などと連携して発表の機会を増やし、気軽に音楽に親しめる「音楽のまち」にしていきたいと思えます。  
また、市内の音楽サークル同士の横のつながりを深めながら、演奏会の情報などを積極的に発信していく予定です。



文：教育委員会指導主事 中條 淳也  
(前上磯中学校吹奏楽部顧問)  
楽部や上磯中学校合唱部が各種大会等で優秀な成績を収めています。  
一般市民のバンドの活動も活発で、上磯吹奏楽団や大野吹奏楽団をはじめ、最近では、新たな楽団を加え、市内のイベントや定期演奏会などで発表しています。  
音楽のまちは、こうした音楽に対する下地をもとに、吹奏楽だけではなく、合唱や民謡、カラオケまで市内で活動しているさまざまな音楽サークルや団体、グループのみなさんがさらに活躍することを期待し、市民のみなさんのご理解とご協力をいただき、北斗市の賑わいを創出したいと考えています。  
みなさんの温かい応援に対する感謝の気持ちを音色にのせて、北斗市の音楽を全国へ発信していきます。